

【余命3ヶ月…がん宣告】 ～体験ルポ～

生年月日 昭和21年10月8日 主婦

提供元 代替医療インターネット情報センター

ただの風邪？ 咳が止まらない・・・

平成 17 年 5 月に咳が出て息苦しいので、ただの風邪かと思い耳鼻科に受診しました。しかし、特に異常なしとの診察結果にあまり納得も出来ず、その日は帰りました。

しかし、その晩も咳がひどく心配になり次の日、総合病院に行き検査を受けることにしました。

レントゲン撮影の結果、右肺に 3 分の 2 位の胸水が溜まっているとの事で、病院からは即入院を促され、すぐに入院する事になりましたが、入院当日より脇腹にゴム管を入れられ胸水を抜きながら様々な検査が続きました。

検査の結果は、胸水より癌細胞が見つかりました。

その時、先生からは家族に対して「余命 3 ヶ月位」との説明があった様で、家族全員とてもショックを受けていたようです。

「なんで私が・・・」「嘘でしょ！」

私自身、胸水を抜けばすぐに退院できると思っていたので、何でこんなに種々な検査をするのか不安な気持ちのまま病室で過ごしていました。

「もしかしたら・・・」との不安な思いは、ますます大きくなり医師や看護師の方たちの言葉や態度で、うすうす感じていました。

しかし、実際「あなたの病名は癌です」と告知されると、平常心ではいられなくなり、「なんで私が・・・」「嘘でしょ！」そんな気持ちがいつまでも頭の中で続きました。

私は、目の前で起こっている現実を受け入れ、落ち着きを取り戻すまで、かなりの時間がかかったのではないかと思います。

入院時は会社に勤めておりましたので、症状を会社に報告し傷病手当金を請求出来る様手続きをしていただきましたので、経済的には少し安心できました。

しかし、これからの治療や生活、将来のこと、子供たちや家族の事、などを考えると奈落の底に引きずりこまれたようでした。

国立がんセンターにも受診しましたが、特に診断に変わりなく、不安な気持ちは一層強くなりました。

そして、原発は子宮だと、この頃わかりました。

「わらにもすがる思いでフコイダンを」

そんな時、長男がインターネットでいろいろと調べ、代替医療インターネットセンター様でフコイダンについての詳しい情報を取り寄せてくれました。

そして、吉田先生のレポートや詳しい資料を読ませていただき早速、フコイダンの販売店をご紹介していただきました。

その時は、ほんとうに必死でしたので、わらにもすがる思いでフコイダンを飲まさせていただきました。

最初は飲む量が分からず送っていただいた資料で皆さんの体験談などを読み、**30ml** ずつ食前に **3** 回飲んでいましたが、抗癌剤治療に入る様になったので吉田先生にご相談する事に致しました。

ご相談では短い時間でしたが、いろいろと話を聞いてもらい数々の勇気をいただきました。そしてフコイダンの飲用量を早朝 **100ml** 寝る前に **100ml** を飲むようにと言われました。

本当に感激しました！

実はフコイダンを飲む前に担当医師より、レントゲン検査で胸水が少し残っていましたが、これから少しずつ溜まっていくかもしれないと言われていました。

しかし、フコイダンを飲み始めてから後、抗癌剤治療で入院した時に撮影したレ

ントゲンには、胸水は全くありませんでした。

本当に感激しました。

私は、絶対にフコイダンで良くなるとの強い思いが出てきて、何か安心さえ覚えるようになり、その後の抗癌剤治療に臨みました。

全部で **8** 回の抗癌剤治療に後遺症や副作用も軽く済み少しの吐き気と手足のしびれだけでした。(脱毛は仕方ありませんが)入院中もフコイダンは続けて飲んでいました。

うれしい結果

手術までに 5 回の抗癌剤を打ちました。

術前の検査では腫瘍マーカーは **3** に下がっていましたし、超音波でも腫瘍は確認できないとのうれしい結果でしたが、手術はしたほうが良いとの説明でした。

そして **11** 月に子宮・卵巣・リンパ腺の切除をしました。手術では他の部位への転移も認められないとの事でしたが、子宮より米粒大のがん細胞が見つかったとの事でした。

もう飲まなくて良い

術後は **3** 回の抗癌剤を打ちました。

その後、腫瘍マーカーも安定し、経過も良好でしたので、今後どの位のフコイダンを飲んだらいいか吉田先生に相談することにしました。

すると、吉田先生からは「もう飲まなくて良い」とのお言葉をいただきました。その時は、完治した様にうれしく思いましたが、今までフコイダンに頼っていたのでもう飲まなくなる事を考えると、ほんとうに飲まなくて大丈夫か？再発しないか？と少し不安になりました。

今は月 1 回の通院で血液検査をしています。

フコイダンと抗癌剤の二人三脚

そして経過は、腫瘍マーカー**3**を維持しております。今回の治療に関して冷静に振り返ってみると、治療法や抗癌剤も私に合っていたと思いますが、やはりフコイダンと抗癌剤の二人三脚でここまでこられたと思います。それと家族の思いも私にはとても強い力になりました。

現在、フコイダンは癌治療に効果的等とテレビなどで話題になっていますし、研究もさかんにされているようです。

中には信頼性のないものもある様ですが、私はこちらでご紹介いただいたフコイダンで助かったと思っております。

その節はありがとうございました。

————— フコイダン体験レポート 完 —————

この体験ルポは神奈川県在住で、実際にフコイダンを飲用し、癌を克服した体験をお手紙でお送りいただきました。

一人でも多くの人に知ってもらい、「同じ病で苦しんでいる方々のお役に立てれば・・・」との思いで、当会からのお願いに対して、率直にお答えいただきました。

フコイダン飲用の体験談はたくさんありますが、全ての人に当てはまるわけではありません。しかし、実際の体験談には可能性が感じられ、多くの同じ病の方への大きな励ましになることは事実です。

この体験ルポを読まれて、がん治療への可能性を感じ、希望と勇気に変えていただければ幸いです。

代替医療インターネット情報センター 事務局

【代替医療インターネット情報センター事務局からのご案内】

【体験談にご紹介されているフコイダンについての詳しい情報】

西洋医学療法の壁を感じつつも癌専門医が今注目の癌治療法を紹介され、その治療法に取り組んだ結果、癌患者の驚きの回復を自ら実感しました。また、独自の癌治療法に組み込み新たな治療法を生み出し、そのメカニズムを多くの患者のQOL(クオリティー・オブ・ライフ=生活の質)の回復例から解りやすくまとめた特別研究レポートです。

【フコイダン研究レポート】ご希望の方は下記からお申し込みください

↓ ↓

<http://www.1dfk.com/repo21.htm>

最後までお読みいただきましてありがとうございました。

当会では、あなた様の情報選びのお手伝いとしてお役に立てますように心より願っております。